

## 定番映画の印象ベクトルに基づく映画推薦手法に関する研究

鈴木 悠太

現在、膨大な数の映画タイトルに対して、ジャンルや出演者名などを入力として検索する映画検索サイトが普及しているが、様々な条件を組み合わせて所望のタイトルを検索するのは難しく、特に、その映画の存在も知らないようなタイトルを発見することは困難である。

映画は単なる娯楽の対象となるだけでなく、ユーザの様々な状況に応じて笑いや感動などを与えてくれる。本論文では、そういった映画に関する感想や意見がかかれた「NAVERまとめ」記事のタイトルに含まれる印象情報と、複数の記事に共通して出現する定番映画のタイトルとを用いて、定番映画を与えることで未知あるいは所望の映画タイトルを検索する映画推薦手法を提案する。

記事タイトルに含まれる印象表現を抽出するために、映画の作風を示す印象語を追加することで独自の印象辞書の構築を行った。印象辞書を用いて、NAVERまとめ記事から取得した映画に感情を付与した結果、多くの映画に感情を付与することができ、定番映画を得ることが出来た。また定番映画にどんな印象が含まれているかを数値化するために、映画1つ1つに対して印象値を算出した。その結果、映画によって同時につきやすい印象や、そうでない印象をグルーピングすることができた。それ故、定番映画を用いることで、それと類似した複数の印象を持つ映画を推薦できることを示せると考える。

(指導教員 佐藤 哲司)